

伊丹市教育DX (デジタル・トランスフォーメーション) 推進指針

～幼児教育から学校教育の連携によるスマート教育いたみ～

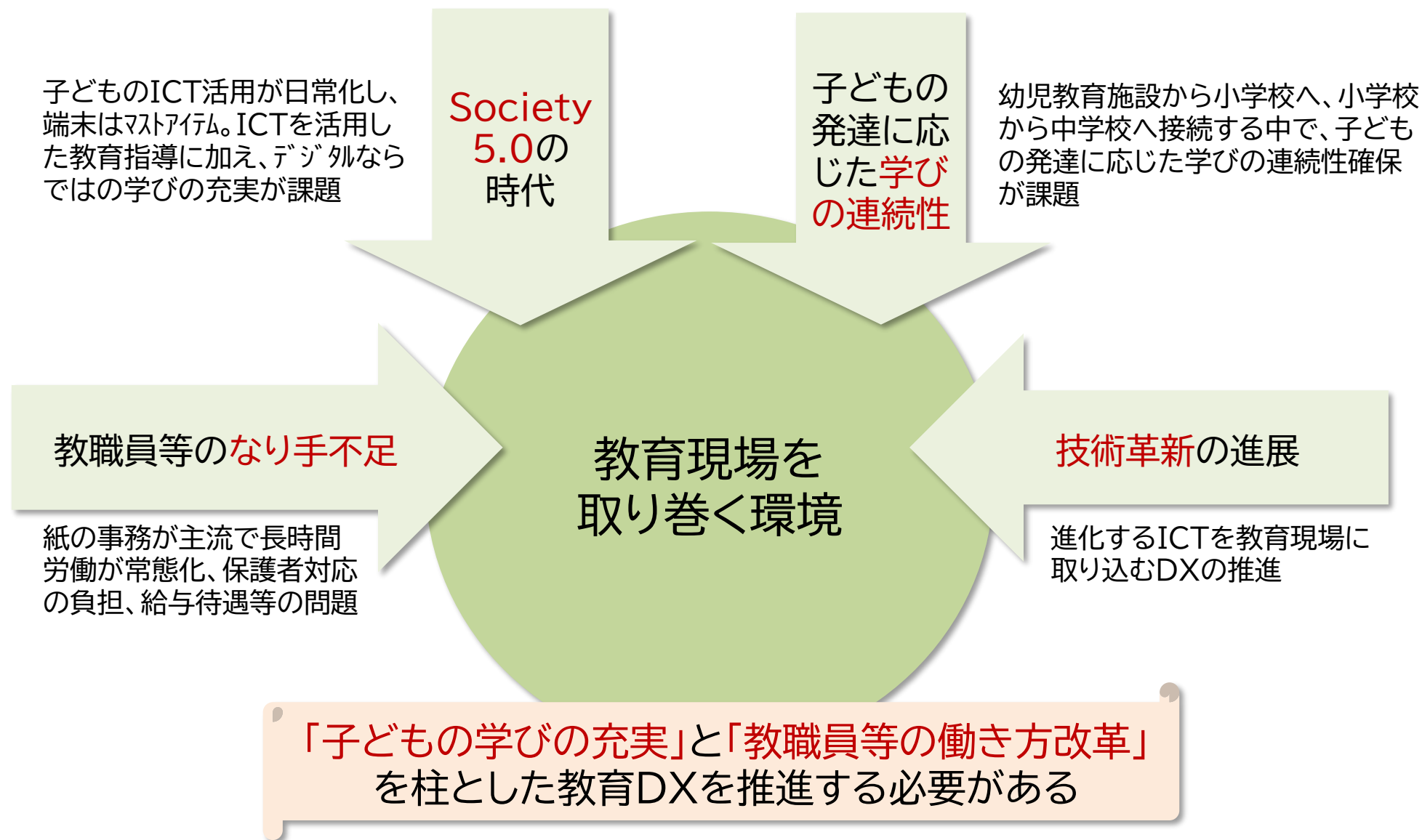
令和6年(2024年)1月

伊丹市教育委員会

■目次

1. 教育現場を取り巻く環境
2. 教育DXの目指す姿
3. 教育DX推進指針の位置付け
4. 幼児教育から学校教育の連携によるスマート教育いたみ
5. 教育DXの基本方針と取組の方向性

1. 教育現場を取り巻く環境



2. 教育DXの目指す姿

【デジタル社会の目指すビジョン(国)】

デジタルの活用により、一人一人のニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会

➡ 誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化

【教育のデジタル化のミッション(国)】

教育DXの目指す姿は、学習にまつわる様々な場・人・モノの「組合せ」が広がり、学習者主体の教育が実現されること

➡ 「誰もが、いつでもどこからでも、誰とでも、自分らしく学べる社会」の実現

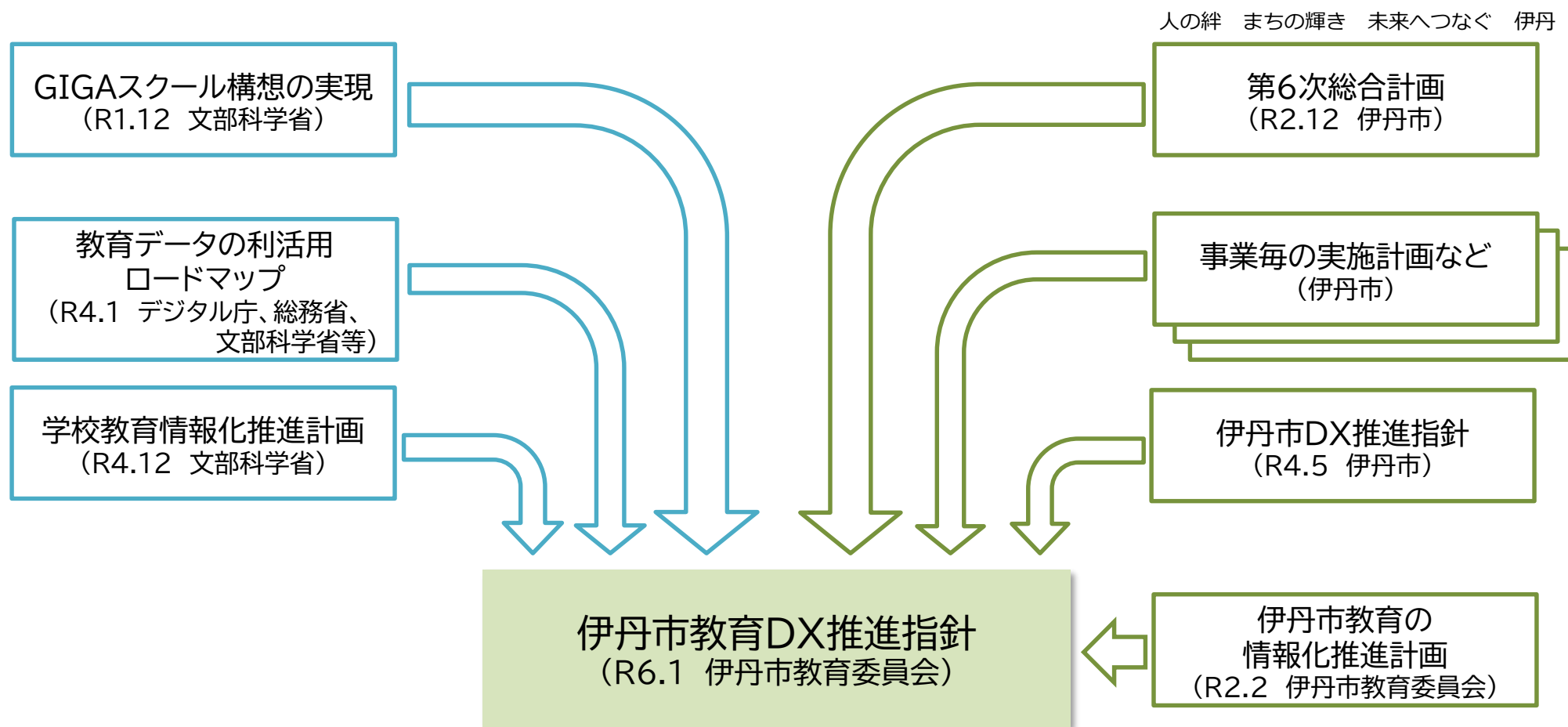
<DXの目指すビジョン(総合政策部デジタル戦略室)>
デジタルがつなぐ 人にやさしいまち スマートいたみ

<教育DXの目指すビジョン(教育委員会)>

子どもたちが自分らしく学べ デジタル社会を生き抜く力を育む スマート教育いたみ

「子どもの学びの充実」と「教職員等の働き方改革」を柱とした教育DXを推進

3. 教育DX推進指針の位置付け(国の動向と市の計画との位置付け)



子どもたちが自分らしく学べ デジタル社会を生き抜く力を育む スマート教育いたみ

- ・幼児教育及び学校教育におけるデジタル戦略推進に向けたガイドライン
- ・具体的な計画策定は総合計画や事業毎の実施計画等に従う
- ・対象期間:令和6(2024)年4月～令和9(2027)年3月

4. 幼児教育から学校教育の連携によるスマート教育いたみ

子どもたちが自分らしく学べ デジタル社会を生き抜く力を育む スマート教育いたみ



①幼児教育

<非認知能力の育成>

②学校教育

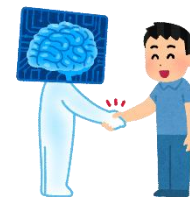
<認知能力及び非認知能力の育成>

継続した
学びを支援

教育DX(ICTをツールとして活用し、「子どもの学びの充実」と「教職員等の働き方改革」を推進)

課題

- ◆デジタル社会を生き抜くために必要な資質・能力の育成
- 自ら課題を発見し、解決に導く力
- 友だちと協働して課題解決等に取り組む力
- 失敗を恐れずチャレンジする力
- AI等の技術革新を使いこなす力



5. 教育DXの基本方針と取組の方向性

目指す
ビジョン

子どもたちが自分らしく学べ デジタル社会を生き抜く力を育む スマート教育いたみ

DXを
進める
方針

方針① ICTを活用した効果的な学びの支援

- ◆直接体験を基盤としたICTの活用 (幼)
- ◆幼児教育の質向上の推進 (幼)
- ◆地域・未就園児・大学とのつながり (幼)
- ◆デジタルならではの学びの充実 (学)
- ◆学習ワンストップサービスの構築 (学)
- ◆教育データ利活用による効果的な学習に関する調査・研究 (学)



方針② 業務のデジタル化

- ◆保育システムの導入 (幼)
- ◆業務におけるICT活用のさらなる推進 (幼) (学)
- ◆新しい働き方の推進 (幼) (学)
- ◆次世代校務支援システムへの更新 (学)



方針③ 安全・安心で快適なICT環境及びサポート体制の充実

- ◆24時間365日切れ目のない情報システム・ネットワークの運用 (幼) (学)
- ◆快適なICT環境を推進するためのサポート体制の充実 (幼) (学)



方針④ 情報モラルの育成及びDXマインドセット

- ◆国ガイドラインに対応したセキュリティ対策 (幼) (学)
- ◆情報モラル教育の推進 (幼) (学)
- ◆DXマインドセット (幼) (学)



DXを
支える
方針